

関係人口の拡大～移住～定住

誰もが安心して暮らせる地域づくりについて

日時

- ・ 令和5年11月16日（木）
- ・ 13：30～16：00

開催場所

- ・ ZOOMによるオンライン形式

その他

- ・ 主催 一般財団法人地域総合整備財団
- ・ 共催 鹿児島県



参加費
無料

セミナー概要

本県では、多くの地域が人口減少や少子高齢化等により、地域の課題を自ら解決することが困難となっており、それらの地域課題の解決に向け、地域住民だけではなく地域外の人材を活用し、地域の担い手づくりや地域住民との交流による新たな価値創出を図ることを目的とした関係人口の創出・拡大の取組を推進しています。

また、食料品等の日常の買い物の機会が十分に提供されない状況に置かれている人々、いわゆる「買い物弱者」の増加も深刻な問題となっています。今年度実施した県内全域の集落や事業者への調査では、買い物の際の交通手段は自家用車の利用が8割を超えており、今後、高齢者等が免許返納や健康不安により運転ができず、買い物弱者となってしまうリスクが高いと考えています。

本セミナーでは、その現状を知り、今後の方策の一助としていただくため、講演1として関係人口の第一人者である（株）ソトコト・プラネット代表取締役で「ソトコト」編集長の指出氏より「関係人口とウェルビーイング」についてお話ししていただきます。また、講演2として（株）船井総合研究所マネージャーの朽尾氏と移動スーパー（株）とくし丸取締役の佐藤氏による対談形式で、買い物弱者の目線で自治体をお願いしたいことなどを提言いただきます。

次 第

- 13:30 開会挨拶（一財）地域総合整備財団 理事長 末宗 徹郎 氏
- 13:35 講演1「関係人口とウェルビーイング」 指出 一正 氏
- 講演2「買い物弱者をどうするか？誰もが安心して暮らせる地域づくりについて」
朽尾 圭亮 氏と佐藤 禎之 氏による対談形式
- 15:45 地域総合整備財団からのご案内
- 15:50 質疑応答
- 16:00 閉会

お申込み

〇〇〇

Zoom URLは後日送付します。

講演者ご紹介

指出 一正 氏 未来をつくるSDGsマガジン『ソトコト』編集長

群馬県高崎市出身。上智大学法学部国際関係法学科卒業。雑誌『Outdoor』編集部、『Rod and Reel』編集長を経て、現職。島根県「しまコトアカデミー」メイン講師、静岡県「『地域のお店』デザイン表彰」審査委員長、和歌山県田辺市「たなコトアカデミー」メイン講師、山形県小国町「白い森サスティナブルデザインスクール」メイン講師等、地域のプロジェクトに多く携わる。官公庁、自治体等の委員、メディア監修等多数。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』（ポプラ新書）。



枋尾 圭亮 氏 (株)船井総合研究所 マネージャー

兵庫県西宮市出身。慶應義塾大学大学院政策メディア研究科修了後、2004年に株式会社船井総合研究所に入所。2005年、地域活性化を志し2005年にプロジェクトチーム「パブリックイノベーションチーム」を設立。その後一貫して、自治体、商工会議所などの公的機関に対するコンサルティングを行っている。コンサルティングスタイルは地域に入り込んでの合意形成から実行支援まで行う地域密着スタイル。得意分野は食文化を通じたブランド化であり、一定の成果が上がった後に人口定住、産業創造等への関連分野へ展開する。平均的な支援期間は5年程度となり複数年度にわたりじっくり地域とお付き合いするケースが多い。



佐藤 禎之 氏 (株)とくし丸 取締役

高校卒業後、飛行幹部として海上自衛隊へ入隊。ヘリコプターパイロット等を務め30歳で辞職。(1997~1999年鹿屋航空基地勤務)辞職後、起業し40歳で事業譲渡。オイシックスがとくし丸を買収するタイミングで、オイシックスに入社、同日とくし丸に出向。2020年から親会社の卸事業リーダー兼任。

とくし丸では、営業役員として全国展開を牽引。最近では、とくし丸の強みである「買い物を通じた見守り」により、買い物弱者問題のみならず消費者被害、健康、孤立など、高齢者の課題解決にとくし丸を役立てるべく自治体との連携を推進。

